

# 建交労大阪府本部

## 機関紙



発行元 府本部

電話 06-4800-7115

## 建交労第26回定期大会を開催

建交労第26回定期大会は、8月31日から9月2日の3日間、台風10号が日本列島を直撃する中、群馬県安中市・磯部ガーデンで開催されました。台風の関係上、列車が運転取りやめになるところ多く、代議員・特別代議員とも委任される方もいましたが、役員を含め105名の参加者で大会は成立しました。大会は石田副執行委員長のあいさつで始まり諸役員が選出されました。冒頭に



### 角田執行委員長

執行部を代表して角田執行委員長があいさつ。角田執行委員長は、「いまだ本は、世界的な経済再編成の大波と自民党政治の行き詰まり、平成不況の長期化のなかで、未曾有の困難に直面しています。支配層は、行き詰まった自民党政治を政治・社会体制の反動的再編によって切り抜けようとし、労働者に対しては日経連の『新日本の経営』戦略によって一部の幹部労働者と大部分の不安定労働者に再編し、大量の無権利・低賃金労働者を作り出して、高利潤体制を追求しようとしています。」「当時の時代認識を背景に、建交労は労働

者・国民をないがしろにする政治・経済に抗うために結成されました。そして、強大な民間単産をつくること、あわせて、

「たたかうナショナルセンター全労連」運動の前進に寄与することを目標に25年間歩み続けてきたわけです。」と述べ、「建交労の強みは多業種産別です。この利点を活かして組織を強く大きくしていこう」と呼びかけました。

大会初日は、来賓あいさつと各議案提案、3組

織から特別報告「じん肺闘争報告・能登半島地震の状況・全国トラック部会」から報告がありました。

### 25周年レセプション

そして、夜には25周年レセプションが行われ、中央本部役員による寸劇や各地方協議会による催しで大いに盛り上がりました。

### 討論で全国から活動報告

2日目は、午前9時から討論が始まり、大阪からの発言者は関西支部・本多代議員、本多代議員は「トラック・生コン業種」の運動と交渉経過について報告。関西合同支部・長谷川代議員は「大田貨物の偽装請負裁判」の裁判終結と御礼、今後の職場でのたたかいについて報告がありました。





関西支部・神原代議員



関西合同支部・長谷川代議員



関西支部・本多代議員

また、大阪からの参加で村上さんが全国トラック部会から酸素部会としての取組み報告。森田さんが全国労働部会を代表して運動と新たに300人の仲間を向かい入れた事などを報告。神原さん



大阪合同支部・伊藤代議員

は、全国青年部を代表して反核学習会・平和行動の取組みなど報告されました。3日目には、組織拡大表彰・写真コンクール・機関紙コンクールが行われ、大阪合同支部の『ニュース・ウイクリー』が優秀賞を獲得しました。また、役員選挙が行われ、新執行委員長に足立浩さんが選出されました。また、大阪から藤川拓中央執行委員、荻田中央執行委員が再任となりました。なお、今大会で角田執行委員長と石田副執行委員長が退任されました。

在任中のご奮闘と尽力に感謝申し上げます。

新役員体制

- 執行委員長 足立 浩
- 副執行委員長 川路 潔
- 副執行委員長 森谷 稔
- 書記長 廣瀬 肇
- 書記次長 鈴木 正明
- 書記次長 福富 保名

関西から選出された役員

- 執行委員 藤川 拓 大阪
- 執行委員 荻田 智 大阪
- 執行委員 高木 哲次 兵庫



今大会に角田季代子執行委員長と石田進副執行委員長が退任されました。また、新執行部に神谷高志さんが新たに選出されました。

# 大阪府本部第26回定期大会を開催

大阪府本部第26回定期大会は、9月8日(日)国

労大阪会館において、午前10時から終日で開催しました。大会は、本多副委員長のあいさつで始まり、大会諸役員を任命。大会議長には、此花支部・山本代議員、関西合同支部・太田代議員、議事運営は、執行部から北山執行委員、大阪合同支部・岡本代議員、兵庫合同支部・上田代議員、資格審査には、執行部から佐藤執行委員、関西支部・藤



長代議員、神田支部・井口代議員、大会書記長は、藤川執行委員でした。冒頭に執行部を代表して前村執行委員長があいさつ。前村委員長は、「岸田政権が誕生し、約3年、アメリカに言われるままに、大軍拡・アメリカと一緒に戦争出

来る国づくりの突き進み、日米軍事同盟と核共有、憲法違反の敵基地攻撃能力のための大軍拡予算を強行成立させた。国のあり方を大きく変える悪法を止めなければならぬ。」と岸田政権を厳しく糾弾。また、「長引く不況と円安・燃料高騰・食料品など、様々な物が値上がりしている。一部の 대기업・富裕層だけが肥え太る政治が行われている。思想信条の自由を保障するのは原則

です。労働者・国民を苦しめる政治をやめさせるために闘わなければならない。そのためには、秋に行われる解散総選挙の準備も必要。組合員をはじめ、職場の全労働者に『政治は変えられる。憲法が活きる平和で安心して暮らせる社会を実現しよう!』と呼びかけました。

その後、大阪府本部第26回定期大会に来賓としてお越し頂いた大阪労連・永井副議長と日本共産党・辰巳コータロー衆議委員比例予定候補からあいさつを受けました。永井副議長は、「大阪府本部運動方針の27ページに記載されている『政府による中小企業への援助金支援』に触れ、まさに中小企業は賃上げ出来るだけの経営体力がない。この問題を解決するには政府の支援が必

要。」と語っていました。また、日本共産党・辰巳コータロー衆議院議員予定候補は、「裏金問題に蓋をする自民党政治から国民のいのち暮らしを守る政治へ転換させなければならぬ。そのためにも秋に行われることが濃厚となった解散総選挙で自民党政治を終わらせなければならぬ。」力強く語りました。挨拶後は、代議員と役員出欠状況を確認し、大会議長から大会成立宣言を行い、各議案提案に入りました。

## 大会代議員による各支部の報告

昼食後は、討論に入り8名の代議員から発言がありました。最初に、関西ダンプ支部・烏川代議員からは、関西ダンプ支部2024年度のたたかいと要求が前進した報告。「三和サービスは、個人

事業主でありながら、1月にストライキを決行した。お風呂に設置する機材単価を引き上げる為に行ったストライキは2日間におよびましたが、組





合側が要求した金額の満額回答を引き出し他こと。また、高槻碎石はダンプの一人親方であるにもかかわら

ず、夏季一時金は昨年実績10万円から倍額となる20万円の回答を引き出した」ことを報告。関西合同支部・岡田代議員は「23秋季年末・24春闘・24夏季一時金闘争の報告と組織拡大・強化」の取り組み報告。関西支部・高橋代議員からは、「大久保建材の春闘で2万円引き上げた経緯と日々雇用労働者の現状と1日の就労賃金を2千円引き上げた」ことの報告。



退任された左写真・鷹巣副委員長、右写真・阪口副委員長

関西支部・東代議員からは、「トラック労働者の2024年問題と改善基準告示の法律には不備がある。トラック労働者の労働環境改善に向けて奮闘したい」と決意が語られました。関西支部・山本代議員からは、「定年退職によってそしきが減少する。この問題を解決しなければ組織拡大に繋がらない。」と組織の強化について発言。関西支部・松田代議員・福山代議員からは、「解散総選挙が秋に行われる、労働組合として積極的に取り組む決意。また、平和行進に参加する建交労の組合員が少ない。もっと取り組みを強化するべきだ。」「府本部財政がひっ迫していても宣伝力は維持していくべきだ。」との意見もいただきました。

きました。今年の討論は、活発な討論で運動方針を補強する発言が多くありました。また、画期的な要求実現の報告もありました。討論後は、「各議案採決に入り、1号議案から7号議案まで満場一致で採択されました。今大会は、役員選挙が行われ、新執行部が誕生。同時に長年に渡り、建交労大阪府本部役員の中心として活躍いただいた、阪口副委員長、鷹巣副委員長が退任されました。建交労大阪府本部の組織に尽力いただいた両名に感謝申し上げます。最後に前村委員長による団結がんばろう！で大会を締めくくりました。全体の参加者は、役員13名、代議員33名、書記1名でした。」